



唄って踊って味わう八女茶山 2024 秋

♪ハアヤーレー 縁がないなら 茶山にござれ 茶山茶どころ 縁どころ♪

唄と踊りの2グループに分かれて練習を行い、棚田と彼岸花を背景に、皆さん一緒になって一つの作品を作ります。

八女茶山おどりはフォークダンスのような簡単な振り付けですし、八女茶山唄も初心者は合いの手でのみの参加でOKです。踊りや唄が未経験の方でも気軽にご参加いただけます。

踊り&唄のあとは、美味しい八女茶をいただきながら、参加された皆さんと一緒に、八女茶山唄に唄われてきた暮らしや風景について語り合いたいと思います。

日時 2024年 9月 16日 (月・祝)

13:30~16:30 (受付 13:00~)

会場 笠原東交流センター「えがおの森」

八女市黒木町笠原 9836 - 1

参加費 一般：500円 (茶菓子代、保険代を含みます)
子ども・学生・笠原地区の方は無料

定員 30名 ※定員なり次第で切ります
このほかに九州大学関係者 30名ほど参加予定

<プログラム (予定)>

13:30 開会

13:45 ワークショップ

八女茶山おどり、八女茶山唄のグループに分かれて

14:45 発表の時間

15:15 お茶の話と試飲

15:45 座談会「八女茶山に集う」

※13:00~16:30 棚田米や八女茶などの農産物販売コーナーを開設予定です。

*詳細・お申込みはWEBより→
裏面もご覧ください



内容について

◇八女茶山唄

「縁がないなら 茶山にござれ 茶山茶どころ 縁どころ」
福岡県八女市に古くから伝わる民謡で、茶山に集う人たちの交流をうたった唄です。

◇八女茶山おどり

2019年8月から10月にかけて行われた奥八女芸農ワークキャンプを通じ、演出家・民俗芸能アーカイバーの武田力さんとボランティアが、地域のお年寄りや農家さんの話を聞きながら、八女茶山唄にあわせた踊りを創作しました。



◇「八女茶山おどりプロジェクト」とは

「八女茶山おどり」は、八女に伝わる民謡「八女茶山唄」にあわせて創作したおどりです。八女茶発祥の地として八女茶文化を育ててきた笠原地区を拠点に、2019年に奥八女芸農プロジェクトによって創作されました。



詳しくは
こちらより！

ワークショップ担当講師

【八女茶山おどり】

武田力さん | 演出家、民俗芸能アーカイバー、
八女茶山おどり振付

3.11 を機に俳優から演出家に。過疎化し住む人が少なくなった滋賀県のとある集落で古来から続く踊りの復活／継承を行うなど、この社会をみんなで身体を動かしながら考えてみる活動を各地で展開。

【八女茶山唄】

馬場美雅さん | 八女市観光大使、八女茶 PR 大使

八女に生まれ八女に育ち、八女を愛する唄い手。八女の観光大使として民謡を唄いながら八女茶をはじめ八女の魅力を国内、世界中に PR 中。FM 八女第 2 第 4 火曜日「馬場美雅のしゃべっ茶 Oh!」を放送中。

【八女茶の飲み方】

松尾章三郎さん、松尾瑞紀さん | 太郎五郎久家茶園

明の国（中国）から茶の実を持ち帰った栄林周瑞禅師が、鹿子尾村（八女市黒木町笠原）の庄屋・松尾太郎五郎久家に茶栽培を伝えたのが八女茶のはじまりと言われています。

申込方法

以下の項目を、メール・FAX・電話にて、事務局までお知らせください。

- 1) お名前
- 2) 携帯電話（当日連絡用）
- 3) 所属（あれば）
- 4) 八女茶山おどりの参加経験
- 5) 黒木バス停からの送迎の必要
- 6) その他（体調面など配慮すべきことあれば）

* 山村塾ホームページの申込みフォームからも応募可能です。



持ち物

帽子、タオル、マスク、飲み物（各自ご持参ください）
動きやすい服装（長ズボンと歩きやすい靴）
※田んぼに入ったり、あぜ道を歩いたりします。

アクセス

公共交通機関をご利用の方は、JR 羽犬塚駅より「堀川バス」の下記便をご利用ください。

[堀川バス]

JR 羽犬塚駅 12:04 発→黒木バス停 12:50 着便
黒木バス停からはスタッフが送迎します（要連絡）
* 堀川バス <http://www.horikawabus.jp/>



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾

特定非営利活動法人山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL・FAX : 0943-42-4300

Eメール : info@sansonjuku.com

WEB : <https://sansonjuku.com>



山村塾

